
流星のロックマン 星の民の記録

Blue - D

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

流星のロックマン 星の民の記録

【Nコード】

N3960J

【作者名】

Blue-D

【あらすじ】

流星のロックマン 星の民の宿命でわかんないことなどを適当にまとめるデータベースってヤツです。

本編のと一緒に見てください！

あいさつと説明

どーも、Blue-Dです。
最近、自分の小説を読んで。

「意味不明な能力が多すぎないか？」

「この能力がゼーんぜんわかんない、説明不足」

などなど「ネタバレしないように・・・」なんて思っていたらバレルどころか何もワーカリーマセーン。

「打開しよー！」と一人でテンションをあげて制作しました。

ここではスバルの強化電波変換とか星の民の能力、裏話を書いています。

「こんなヤツのを読めるかいっ！」

なんて冷たいことを言わないで読んでくれるとうれしいです。

ここは本編の前書きに更新のお知らせをのせていくのでよろしくおねがいします。

第2話 具現化結晶

どうも！ Blue-Dです！
今回は具現化結晶についてです。

具現化結晶説明。

具現化結晶は中3で習うエネルギーと関連させるとわかりやすいかも。

これは、たとえば音にあるエネルギー、これには力のあるエネルギーとします。

そこに形状を変化させたりします。

ミソラのシヨックノートは音符形にしたりなど、スバルの小説オリ技のギアブレイクも熱や光のエネルギーを歯車状に変化させてます。このような形状変化には必要条件があります。

まずはエネルギー源。

ミソラはギターからの音、スバルは銃からの何か？

さらにこれには属性がついてきます。

火には火についての何か。

風や木にもついてきます。

変現自在に形状変化させれる、属性がある、覚えておいてください。

最後に具現化結晶のこれだけおぼえていればいい所。

- 1・・・簡単に言ってしまうえば魔法。
- 2・・・具現化結晶には素材が必要。
例は木刀を作りたいなら木が必要など。
- 3・・・形などは使用者の自由。

- 4・・・けっこう集中してやらないと発動できない。
- 5・・・属性がある。
- 6・・・使用後は素材が消える。
- 7・・・電波変換をしなくても使用可能、そのかわり威力減少。
- 8・・・素材は電波でないといけない。でない完璧な放火魔の誕生など、サテラポリス以前に電波変換と言うものの必要がなくなり
そう

第3話 星の民の能力解説 その1

今回は星の民の能力解説シリーズ第一段、アラタの力についてです。彼は時間、空間の二つ、つまり時空間を利用します。

彼は今のところ、空間移動、時間移動、空間転移を使用。では解説にいけますね。

空間移動は高速移動と考えてください。

これは0.1秒で自分の位置から目的地まで高速で移動します。

一見便利な能力も弱点はあります。

まずは直線限定にしか移動できない。

次に壁をすり抜けれない。

では2階建ての家の玄関前から2階の部屋まで上がってもらいましょう、本人に。

「作者あ、オレに何事？」

アラタくんには今から星の民の能力の空間移動で2階に上がってもらいます。

「いーぜ。」

星の民の名において命ずる、力を解放せよ！」

やってもらおうと……

「いってえっ！」

バチーンと大きな音を立てて玄関に正面から激突します。

さらに階段を高速でのぼるほうも大変。

玄関が開いてないと入れないしコンビニの自動ドアでは開く前にドアと激突なので日常では不向きかも。

では次の空間転移について。

これはA地点からB地点までワープすると覚えてください。

今度も玄関前から2階に行ってもらいましょう。

今回は……

特に何もなくいけます。

「作者つまんない」

もう一回壁に激突させる？

「解説解説！」

チツ、アラタには後でドリームアイランド、だっけ……まあ流星

1でのゴミ焼却機の中で深く反省してもらおうとして、では解説。

これはワープ能力と言っていていいかな……たぶん。

これなら壁に激突しないし自動ドアなんて関係ない。

でも弱点。

まずはエネルギー消費が激しい。

次にB地点は電波だの何か目印がないと無理。

最後にミスツて壁の中に移動した時は壁にめり込みます。

「最後のヤツはシャドウが位置調節してくれるから解決「作者あ、

オレに何事？」

アラタくんには今から星の民の能力の空間移動で2階に上がっても

らいます。

「いーぜ。」

星の民の名において命ずる、力を解放せよ！」

やっってもらおうと……

「いつてえっ！」

バチーンと大きな音を立てて玄関に正面から激突します。

さらに階段を高速でのぼるほうも大変。

玄関が開いてないと入れないしコンビニの自動ドアでは開く前にド

アと激突なので日常では不向きかも。

では次の空間転移について。

これはA地点からB地点までワープすると覚えてください。

今度も玄関前から2階に行ってもらいましょう。

今回は……

特に何もなくいけます。

「作者つまんない」

もう一回壁に激突させる？

「解説解説！」

チツ、アラタには後でドリームアイランド、だっけ・・・まあ流星
1でのゴミ焼却機の中で深く反省してもらおうとして、では解説。

これはワープ能力と言っていていいかな・・・たぶん。

これなら壁に激突しないし自動ドアなんて関係ない。

でも弱点。

まずはエネルギー消費が激しい。

次にB地点は電波だの何か目印がないと無理。

最後にミスツて壁の中に移動した時は壁にめり込みます。

「最後のヤツはシャドウが位置調節してくれるから解決したぜ」

ご苦労。

簡単に言えば学校に遅刻しそうになっても一瞬で教室入り可能だが
使いすぎると死亡します。

だいたいこのぐらいですね。

第4話 第三電波変換について

今回は第二電波変換についてですね。

ダイヤモンドダストモードについて

属性は水。

外見は水色、各関節部分や手足に薄い氷の鎧をつけ、背中に鳥の羽を凍らせてくつつけたような大きな氷の翼のロックマン。

これは通常ロックマンの体のあちこちに氷の鎧のように装着させる強化です。

具現化結晶の材料も自分の氷、失った氷は空気中の水分を凝結して自分の物に。

氷を利用して戦います。

スターダストモードについて

属性は風。

外見は薄い黄緑、ブラックエース状態のロックマンの翼をドラゴンのようなものに変えたもの。

風によるスピードなどテクニカルに戦います。

具現化結晶は自分の翼から風を発生させてつくる。

スターダストオーバードライブについて

属性は木。

外見は水色と黄緑が輝いたような色、形は通常ロックマンから粒子が溢れている。

自分の装備をすべて具現化結晶させて粒子にした状態。

粒子は水、風、木の三つを自在に具現化結晶の素材にさせれる。

簡単に覚えてくれればうれしいです。

第5話 星の民の能力その2

星の民の能力解説シリーズその2です。

「やつほぐ、全世界10000000000000000人のリオン様ファンの皆さん！ 星の民シリーズの主役、リオン様です！」

おい、ちょっと待てよこの前からひょっこり生えてきた新参者が主役？

伝説編から約300話ぐらいの中、宿命編の65話ぐらいでやつと名前がでてきたヤローがあ？

「そうですね、リオン」

「フレンはうるせえなあ！ 作者の投稿開始の時では伝説編で登場するはずが……」

「ですが、作者の言葉どおりの新参者、いつそこから知名度をあげましょうか。それと一兆の数を数字にしないこと、さらに正確に自己紹介。はいどうぞ」

「へーい。ダメ作者の執筆している小説の哀れな一般行人、リオンですよ……」

「上出来です。私はダメ作者の生み出した陰の主役、フレンです。どうぞ、お見知り置きを」

そろそろいい？

ツッコみたいところ満載だけどそろそろ説明しないと。

今回はセツナの完全記憶能力とフレンの力を消滅させる力ですね。

「チヨイ待て！　なんで俺様ことリオンくんは無いの！？」

「あるかないかもまだ小説に書かれてませんよ」

そういうこと、さらにリオンの能力は考えてないから。

「うう……俺様涙目……」

セツナの力は学生にとっては喉から手が出るほどほしい力、完全記憶能力。

これは力の断片でも発動させた瞬間、その日の晩ご飯から未来永劫忘れない！　ついでに授業で習った問題の一字一句も！！　デパートですれ違った人の服の色全部も！！！！

「と言うことは力を発動させて一年立てば、一年間の朝ご飯を言え

るってことだろ・・・ソイツはかなり複雑な生い立ちなヤツだな」

「まあ図書館で読んだ本を一字一句を完全に覚えれるのはすごいです
すね」

ついでに言うとセツナはこの力を利用して物理学とか戦闘知識がすべて頭に入っている。

だから小学一年生なのに天才。
どんなことも忘れられない。

「次は私の力ですね」

力を消滅させる力だね。

たとえば今、リオンがフレンに向かって銃を使って弾丸を発射する。

「くられ日頃、 の恨みイイイイイ!!!」

ドオオオン！ って撃つたとして、フレンは左手を弾丸を受け止めるように差し出す。

「無駄ですよ」

”手に触れた”瞬間、弾丸の前に進もうとする力を消滅させれば、その位置で弾丸は地面に落ちる。

さらじ。

「仕返しですよ」

フレンがリオンの頭に“手が触れた”瞬間、脳の働きかける力を一時、消滅させられる。

欠点はエネルギー消費が激しい。

再生するタイプの力では一定時間しか力が働かない。

触れないといけない。

ぐらいですかね。

第6話 第二期キャラ説明

今回は第二期の主な登場人物です！

「作者？。 宿命編連載から約三ヶ月、今更って感じがあ・・・」

リオン！

テメーとフレンのためにこれを書くの遅らせていたってのに・・・
チツ。

「リオンと作者の意見も大切ですがとりあえず悔やむ前に行動しましょう」

光 ミカゲ

ナイトメアに誘拐されてしまった少女。
スバルとはナイトメアサバイバル時に遭遇し、仲間になる。

外見は活発そうな顔に髪の毛は薄い黄色で前髪は目を過ぎるぐらい、
横髪は耳に引っかけており、後ろ髪は肩を過ぎるぐらい。

服装は水色に白の水玉のワンピースかピンクの半袖に青いジーパン。

性格はドジ、自由奔放、好奇心旺盛、食欲旺盛、感性は一般人とポ
ール一個分離れている。

ハラペコキャラ、セツナに食べ物を横取り、つまみ食い、いろいろ
食べるがピーマンとか苦いものが苦手。

口調はなぜか「う」を抜かしたしゃべりをする。

寝起きや寝相が最悪。

困ったことをほおっておけない。

電波変換は エンシエントになる。

精霊石と呼ばれる特殊な鉱石を使った自身と攻撃の属性を変化させていく。

セツナ

外見は黒に白の一線の入ったズボンと黒一色の長袖、首を覆うように縛っている黒いマント、怪物の仮面（本人の紙粘土による手作り）をかぶり、指出し手袋をつけている。

髪の毛はサラサラな真っ黒な髪の毛で月のように輝く肩を過ぎるぐらいの髪の毛。

性格はやや無口、クール、冷静沈着だが熱い気持ちがある。

謎がとことん多い。

手先が器用で服はミカゲの分まで作っている。

ミカゲ曰くセツナの頬は「マシユマロみたいに柔らかい」「らしい、

美肌。

甘党でいつも何かを食べている、自分でケーキを作ったりする。

最近の悩みはミリ単位だがミカゲに身長で負けていること。

戦闘では自分の星の民の力で武器を電波融合させて戦う。

電波変換をしない分、元々の卓越した運動能力や具現化結晶、まずは人間であるかを疑うほど。

剣は「大切なもののため」にのみ振るわれるので剣を使うことは滅多にないが、剣はいつも携帯している。

剣はお手玉のように投げながら敵を動きを計算してベストなタイミングで剣を掴めるジャグリング戦法で戦う。

完全記憶能力を利用した行動を多様する。

電波変換ではライガースラッシュになるが力は不明。

フレン

フレン談“こちら側”の人物。

外見は茶髪で七三分けしており、灰色の服のに黒のコートを重ね着して、青いジーパンをはいている。

性格は冷静でけっこう論理的。

いつも微笑を浮かべ続けており、悪いことを考えると不気味に変化する。

趣味はスカイスポーツ。

真実がわからないことは言葉を濁す癖がある。

戦闘では星の民の力を酷使した戦術を使うので多勢との戦闘は不向き。

一対一ではかなりの力、木の生成と力の消滅を使いこなしていく。

リオン

外見は赤髪で黒の半袖にオレンジのコートのような物を羽織っており、ベージュのズボンをはいている。

性格はお調子者でチャラチャラしている。

だが、決める時は決めるので切り替えがしつかりでき、自身の一人称が「俺様」から「俺」に変化する。

戦闘では音符など音を利用した遠距離からの戦いが基本であり、音素を使いこなす頭脳派な一面も。

第7話 セツナの記憶喪失について

「だーっはっはーッ！ 本編3月17日現在ではベッドで寝ててもこっちは復活だぜえ！」

リオン、黙ってる。

「そうですよ、作者はデータベースは私たちが司会にさせてもらえたんですから」

あいかわらずこんなんですが頑張りますか。今回はセツナの記憶消去のメカニズムです。

「つつても、エネルギー充電してあとは消しゴムみたいに消しちゃう、だけじゃね？」

まあ説明聞けや、リオン。
メカニズムの仕組みは、

- 1・エネルギーを充電していく。
 - 2・貯まったら消去開始。
- の2段階で行われているのです。

「……これだけでしょ？ 何か説明はするべきなのでしょうか？」
とりあえず聞け。

あのセツナの中の負の遺産が記憶を消去するために、まずはエネルギーを溜めていくとセツナに頭痛とか発生する。

「頭痛とかに理由とかあるの？」

理由は、負の遺産がセツナの脳内の50パーセントを掌握してるだろ。

セツナの記憶をすべて消すためのエネルギーがセツナ側の漏れて脳を刺激してるからだ。

「無駄な設定だぜえー」

うるせえ！

それはセツナが完全記憶能力者だからだ。

一般人なら一日できれいさっぱり消えていくんだよ。毎日が新鮮だよ？

「リオン、どうでしょうか？」

マツハで逃走したりリオンはほっというて。

次の記憶消去は簡単に言えば今年度の学校のノート、全教科を消しゴムで消すことと同じです。

「気が遠くなりそうですね」

「ダルっ！」

まったくです。

一般人は一日分なのですがセツナは一年分たっぷりです。しかもセツナはできないことをやらされているので体への影響は山の如しです。

「忘れることができない、だっけ」

はい。

たとえばクラスで一番遅いやつにイチローと50メートル走して勝利しろって言うようなものです。

ムリなことを無理矢理させたらそりゃーやばいです。

あの時、セツナが負の遺産の攻撃を止めながらこんなことしてるのは化け物みたいな精神力が無いとムリですよ。

今日はここまでッ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3960j/>

流星のロックマン 星の民の記録

2010年10月9日01時04分発行